

4. 下郷町の桜

1994年4月27日町内の桜の開花状況をみて回った。開花の状況は、近年になく見事な開花状況であった。

戸赤地区・音金地区・中山地区は開花が遅れ、蕾^{つぼみ}がかたかった。桜の様子を見て回って気付いたことは、どこの地区の桜もテングス病に罹^{かか}って、花の咲けない枝のあることである。テングス病に罹った枝は一目で分かり、枝がびっしりと固まって出て、葉だけが出て花が付かない。病気の枝は、一本一本切り落とす対策が必要である。

特に見事だった桜は、水門地区の墓地にあるエドヒガン（江戸彼岸）の古大木桜・湯野上温泉駅のソメイヨシノ（染井吉野）・中山風穴公園のソメイヨシノ（染井吉野）・弥五島満願寺のシダレザクラ（枝垂桜）・落合養樽公園駅近くの民家のオオヤマザクラ・（大山桜）・小野観音のヤマザクラ（山桜）・豊成分校跡のソメイヨシノ（染井吉野）弥五島の長沼家の墓地のシダレザクラで、そのほかにも美しい桜の名所が沢山あった。

サトザクラ（八重桜）は開花していなかった。

ソメイヨシノ（染井吉野）

町内では、一番数が多い桜で、旭田地区・楢原地区・江川地区ともに、学校や学校跡、公園等に多く植栽されている。ソメイヨシノは、ヤマザクラのような優雅さはないが、ピンク色の花がびっしりと着き、すこぶるにぎやかで、葉に先立って花が咲き、実に見事である。若樹から古木まで町中が花盛りであった。

今年は、ウソ（野鳥）の被害もなくどこも花、花、花であった。

中でも、豊成分校のソメイヨシノ（染井吉野）は、わが町の西の張出横綱といったところである。



【旧豊成分校跡のソメイヨシノ】



【湯野上温泉駅のソメイヨシノ】